

平成 29 年度の事業計画書

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人とみおか子ども未来ネットワーク

1 事業実施の方針

- ・交流会事業、学習支援事業、集いプログラム事業を実施。
- ・広報活動の充実を図る。
- ・会員間の連携強化と会員拡充及び他団体の連携強化を図る。
- ・次世代向けの事業展開を目指す。
- ・アーカイブ事業を実施。

2 事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施予定日時 (B)当該事業の実施予定場所 (C)従事者の予定人数	(D) 受益対象 者の範囲 (E) 予定人数	事業費の 予算額 (単位：千 円)
タウンミ ーティン グ事業	開催なし	(A)なし (B)－ (C)－	(D) (E)	0
交流会事 業	・若者世代のつながりの場作り として、関東圏に避難をしてい る 10 代、20 代の原発避難者を 対象に交流会を行う。	(A)年 2 回程度 (B)関東圏 (C)6 人	(D) 全国の当 事者支援団体及 び原発避難者 (E) 40 人	100
学習支援 事業	・「おせっぺとみおか」の実施。 ・全国に避難している高校生、 大学生が、「聞き書き」を用い て、高齢者世代の協力のもと、 富岡住民同士で「富岡町の暮ら し」から地域を学ぶ。 ・郷土文化の継承事業の推進	(A)3 回程度 (B)東京都内及び福島県内な ど (C)30 人	(D) 全国に避 難をしている、 高校生、大学生 及び高齢者層 (E) 延べ 10 人	2854
子育て相 談事業	・子育て世代を対象とした「お 料理教室」を実施する。 ・交流会事業の参加者も交えて の料理を通じた交流を目指す。	(A)年 2 回程度 (B)郡山市内 (C)6 人	(D) 郡山市内 及び近郊に避難 をしている富岡 住民及び全国に 避難している富 岡町民 (E) 20 人	100
支援者グ ループと の勉強会	・全国各地の支援グループと勉 強会を実施する ・当事者支援団体との交流と学 びの場を目的とする。	(A)年 4 回程度 (B)関東圏及び関西圏 (C)24 人	(D) 全国の当 事者団体及びそ の会員、原発避 難者、当会員 (E) 80 人	100
セミナー 事業	・会員を対象にした原発避難に 対する勉強会を実施。 ・会員の要望で開催内容は決定 する。	(A)1 回 (B)福島県内 (C)13 人	(D) 会員 (E) 15 人	100

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施予定日時 (B)当該事業の実施予定場所 (C)従事者の予定人数	(D) 受益対象 者の範囲 (E) 予定人数	事業費の 予算額 (単位：千 円)
集いプログラム事業	・むさしの福島ともだちプロジェクトの実施。 ・武蔵野市の市民団体と協力して、全国に避難している子供のいる世帯を中心に実施する。合宿先は長野県川上村にある武蔵野市の施設を借用する。	(A) 8月 (B) 長野県 (C)12人	(D) 全国に避難をし、中学生以下の子供がいる世帯 (E) 40人	100
アーカイブ事業	1) ・事業を通じてつながりをもった方々に、原発災害で避難した経緯を私歴として残す。被災当事者から避難の状況を聞き取り、可視化して返す事で、震災の記録作りの支援を行う。 2) ・団体活動も6年となり、富岡町の避難指示解除（一部を除く）となったこのタイミングで、今までの活動をまとめた報告記録の冊子作成を行う。	(A) 1) 毎月 2) 2月 (B) 1) 全国各地 2) - (C) 1) 24人 2) 6人	(D) 1) 原発災害の避難者 2) 富岡及び並びに連携関係者、一般 (E) 1) 12人 2) 1000人	500
イベント事業	・団体発足から7年となる為、一般公開向けのシンポジウムを開催する。	(A)2月 (B)東京都 (C)5人	(D) 避難当事者及び支援関係者、一般 (E) 100人	100
情報発信事業	1) 団体情報誌「とみログ」を発刊し、富岡町民世帯へ配布すると共に、連携団体や一般の方へ配布する。 2) 団体の活動をまとめたリーフレットを作成する	(A) 1) 4回発行 2) 8月 (B) 1) 富岡町全世帯及び全国 2) 全国 (C) 1) 16人 2) 4人	(D) 1) 避難している富岡町民世帯及び関連団体、一般 2) 不特定多数 (E) 1) 8000人 2) 不特定多数	2,000